用具検査判定基準

（FIE競技規則　用具規定より抜粋）

この基準（図解含む）は、FIE競技規則　用具規程(m.)からの抜粋及び重要な部分を要約したものである。当該条項の完全な規定の代わりになるものではないので注意すること。

1．マスク

(1) フルーレ，エペ

① マスクテスターの12ｋｇの圧力に耐える網目。すなわちマスクテスターが貫通しないこと。

② 錆がないこと、著しい変形がないこと。

③ 落下防止バンドがあること。メタルタング付きの場合、固定システムは２重でなければならない。ベルクロは、最低限750Ｎ/cmの強度であること。中央のバンドは、幅45mm以上。メタルタングを伴わない場合、バンドは３カ所の固定点を含まなければならない。主要なバンド位置は、マスクが滑り落ちない事を確実にすること（25～30mm）。

④ マスクのたれの縫製にほつれのないこと。

⑤ マスクのたれの部分については縫製による補修は認めない。

⑥ マスクのたれにメタルジャケットと同じ伝導性を持っている素材が縫い付けてあること。（フルーレ）

⑦ マスクの網は内外とも絶縁されていること。（フルーレ）

(2) サーブル

上記 1．(1) ①～⑤ の他に

① 絶縁されていないこと。

② マスクと鰐口クリップのどの部分でも5オーム以下の抵抗で導通があること。

2．剣

(1) フルーレ

① 全重量が500ｇ以下であること。

② 全長が110ｃｍ以下であること。

③ 刀身は、湾曲が1ｃｍ以内であり、全長が90ｃｍ以下であること。

④ ガード直径が9.5～12ｃｍで、ガードの外にヒルトがはみ出さないこと。

⑤ ガードと刀身間に導通があり、ガード表面に絶縁物が付着していないこと。

⑥ ポワンは、500ｇの重りを持ち上げるバネの力があること。

⑦ ポワンは、断線がないこと。

⑧ 剣身はポワン本体と本体から15ｃｍの刀身に絶縁テープが貼ってあること。

⑨ ソケットに脱落を防止する安全装置があること。

⑩ ポワンから来ている線は、鍔を通過する際に絶縁スリーブで保護し、いかなる場合でも裸線をソケット前方に用いてはならない。剣身の角は切れないよう面取りが施してあること。

(2) エペ

① 全重量が770ｇ以下であること。

② 全長が110ｃｍ以下であること。

③ 刀身は、湾曲が1ｃｍ以内であり、全長が９０ｃｍ以下であること。

④ ガード直径が最大13.5ｃｍで、深さが3～5.5ｃｍであること。

⑤ ガードと刀身間に導通があり、ガード表面、刀身に絶縁物が付着していないこと。

⑥ ガードの偏心は3.5ｃｍ以下であること。

⑦ ポワンのストロークは1.5ｍｍのゲージが入り、0.5ｍｍのゲージでトウシュの状態にならないこと。

⑧ ポワンは、750ｇの重りを持ち上げるバネの力があること。

⑨ ポワンは、断線がないこと。

⑩ ソケットには脱落を防止する安全装置があること。

⑪ ポワンから来ている線は、鍔を通過する際に絶縁スリーブで保護し、いかなる場合でも裸線をソケット前方に用いてはならない。

(3) サーブル

① 全重量が500ｇ以下であること。

② 全長が105ｃｍ以下であること。

③ 刀身は、湾曲が4ｃｍ以内であり、全長が88ｃｍ以下であること。

④　刀身は、剣先より70ｃｍ部分を水平に固定して、剣先に200ｇの重りをつり下げ、4～7ｃｍの柔軟性を有していること。
⑤　刀身は、ボタンの頂上で幅が4～6ｍｍ、最小幅はボタン下で4ｍｍ、厚みはボタンの基底部で最小12ｍｍであること。また、ボタンの厚みは4～6ｍｍであること。
⑥　ガードはヒルトを含めて長さが17ｃｍ以下で、大きさが最大15×14ｃｍであること。また、著しい変形もしくは、ギザギザがないこと。
⑦　鍔の内側には、ボディーコードのプラグを接続するための規定に沿ったソケットがなくてはならない。
⑧　ソケットに脱落を防止する安全装置があること。
⑨　鍔の内側は完全にワニスかパッドで絶縁してあること。
⑩　鍔の外側はポンモーから7～8ｃｍの間、絶縁してあること。
⑪　柄とポンモーは完全に絶縁してあること。

3．ボディーコード（全種目）
①　断線、短絡、接触不良がないこと。
②　接続プラグが完全に絶縁物で覆われていること。
③　接続プラグは透明な素材で作られていなければならない。
④　武器に装備された安全確保装置の欠如の場合は、安全確保装置がボディーコードのプラグに装備されていなくてはならない。
⑤　メタルジャケットに接続するための鰐口クリップの付いた線は、少なくとも40cm、この線は鰐口のクリップにハンダは付けられるが、この接点は絶縁物その他の材料で被覆してはならない。

4．マスクケーブル（フルーレ・サーブル共通）
①　断線及び鰐口の接触不良がないこと。
②　マスクケーブルの長さは30～40ｃｍであること。
③　白色又は透明色のケーブルであること、コイル状のケーブルは認められない。

5．メタルジャケット（フルーレ・サーブル共通）
①　縫製にほつれがないこと。
②　表面にほつれ、錆がないこと。
③　表面の縫製による補修は認めない。
①　5オーム以下の抵抗で導通があること。

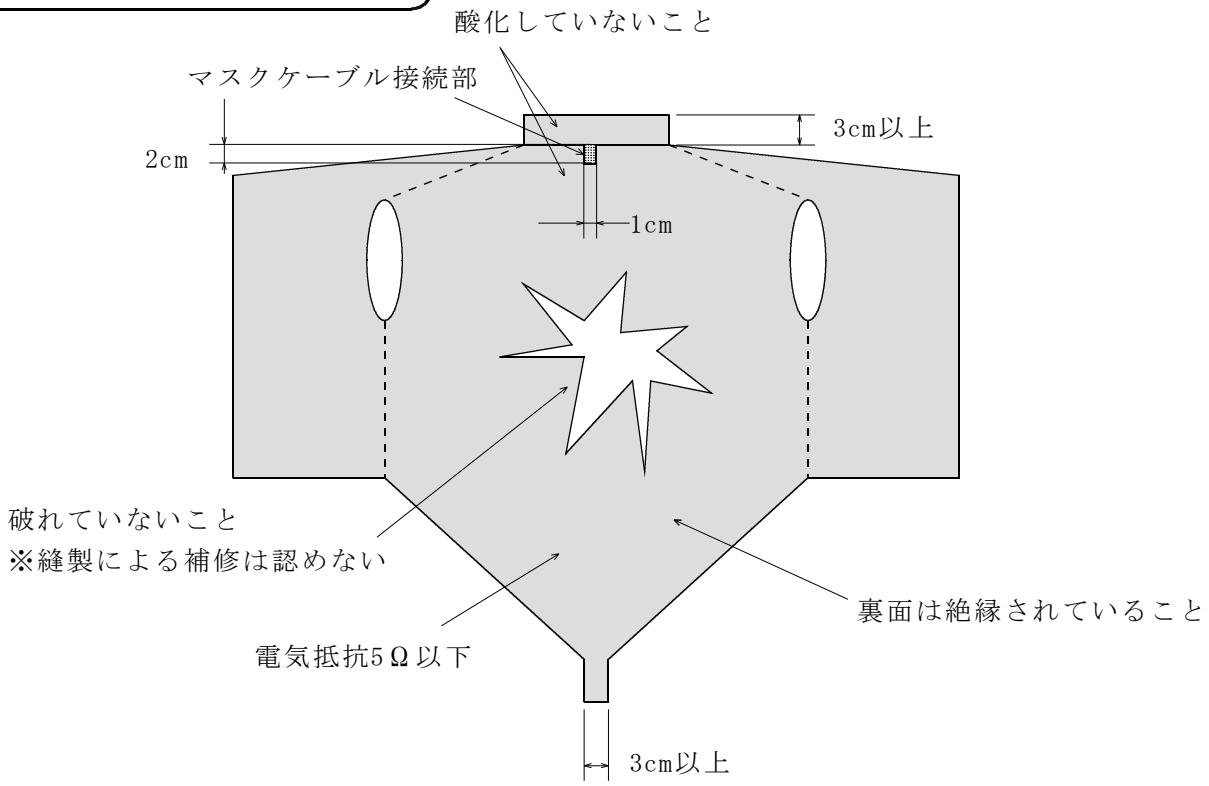
6．グローブ(全種目)
グローブの手首カバーは、どのような状況でも、対戦相手の刀身がジャケットの袖に進入するのを防止するために選手の武器を持った腕のほぼ半分の前腕を完全に覆っていなければならない。いかなる状況下でも、ボディーコードを通すためでも、絶対にグローブに穴があってはならない。なお、テープによる補修は認めない。

7．グローブ・カフ（サーブル）
①　錆がないこと。
②　5オーム以下の抵抗で導通があること。
③　メタルジャケットの袖との接触を良好に保つためのゴム又はスナップがついていること。
④　グローブのバック(手の甲側)及びハンドセクション(手のひら側)は800Nの保護レベル、パーム(手のひら側指の部分)は200Nの最低限度の保護レベル、カフセクションは350Nの保護レベルがなければならない。　　※詳細は図解で確認。

8.ソケット(エペ)
ソケットにはブロックの中で2つの分離された穴がなければならない。従って、2本の絶縁スリーブで保護された線がブロックの中を別々に通り、端末に繋がるようになる。

図　解

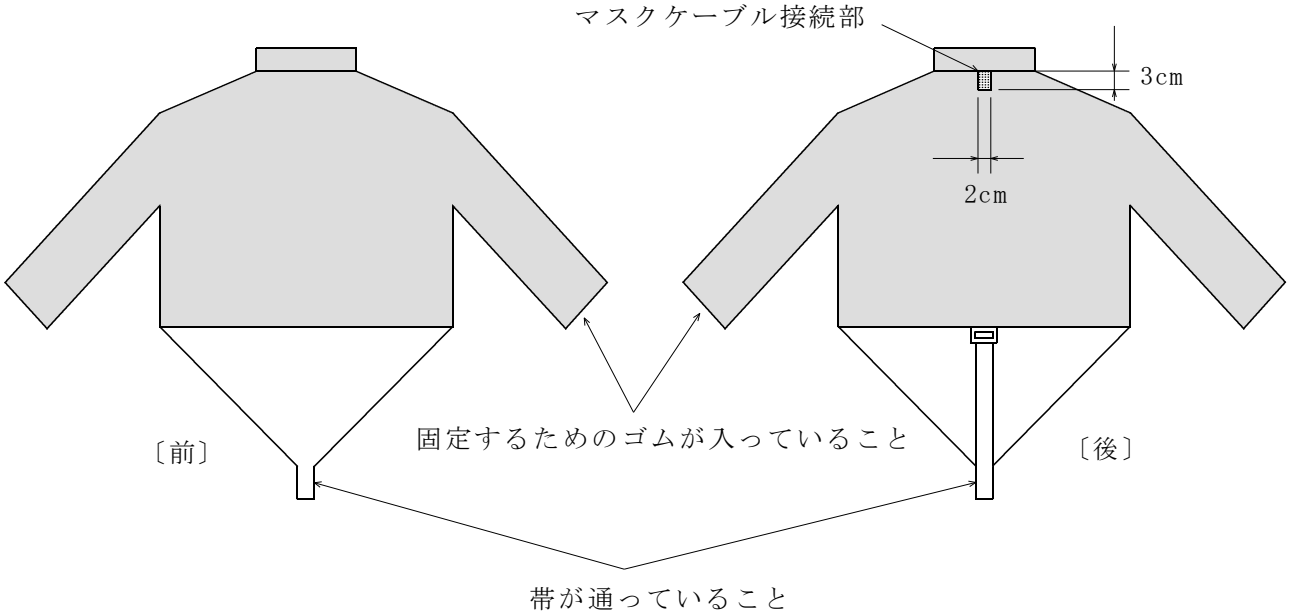
メタルジャケット：フルーレ



メタルジャケット：サーブル

※襟の高さ、酸化、破れ、抵抗、絶縁はフルーレ同様

※メタルジャケットは有効面を完全に覆っていなければならない

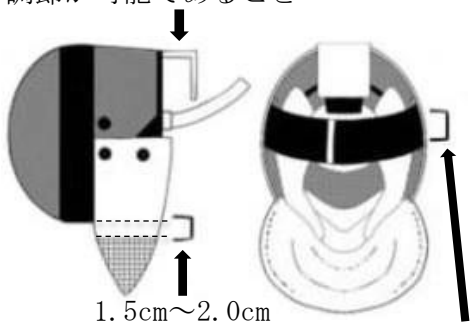


マスク： フルーレ
【メタルタング付き】

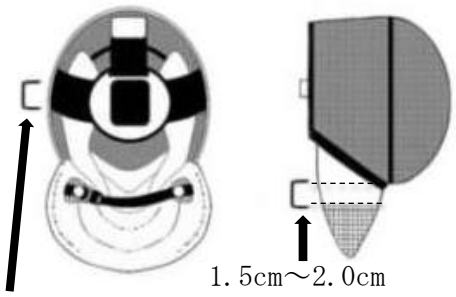
マスク： フルーレ
【メタルタングを伴わない】

・網目は１２kgの圧力に耐えられること
・絶縁されていること
・錆びていないこと。
・破損、ほつれがないこと

調節が可能であること



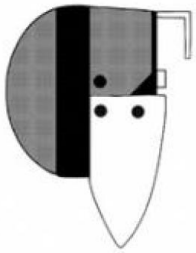
・固定システムは２重でなければならない
・ベルクロは、最低限 750N/cm の強度であること
・中央のバンドは、幅 45 ㎜以上



・バンドは３ヵ所の固定点を含まなければならない
・主要なバンド位置は、マスクが滑り落ちない事を確実にすること（25～30 ㎜）

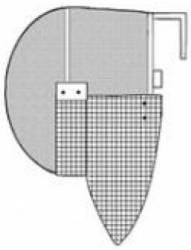
・マスクのバベット（垂れ）にメタルジャケットと同じ伝導性を持っている素材が装着（縫付）されていること
・縫製による補修は認めない。

マスク：エペ
【メタルタング付き】



・網目は１２kg の圧力に耐えられること
・錆びていないこと
・絶縁されていること
・脱落防止バンドがあること
（メタルタングを伴わないマスクは、フルーレの規定に準ずる）

マスク：サーブル

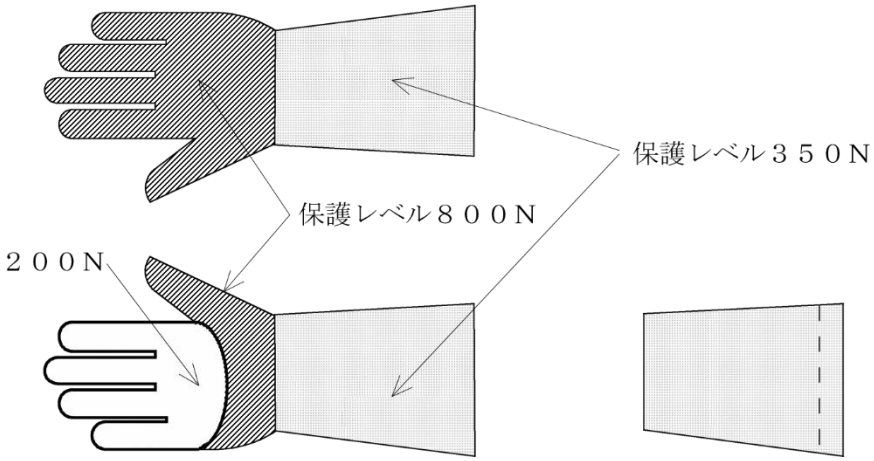


・バベット（垂れ）と付属部品は金属物質で覆われていること
・鰐ロクリップとマスクとの抵抗は 5Ω以下
・絶縁されていないこと
（上記以外はフルーレに準ずる）

グローブ・カフ：サーブル

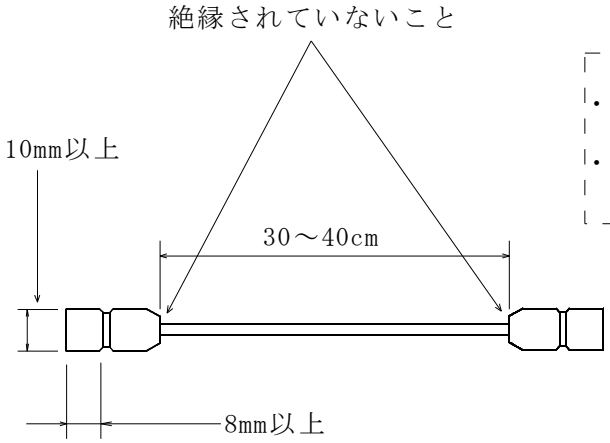
ほつれ、錆びがないこと

グローブの内側に８００Ｎと記載のＦＩＥラベル



カフを使用する場合には接触を保つ為のゴムが入っていること

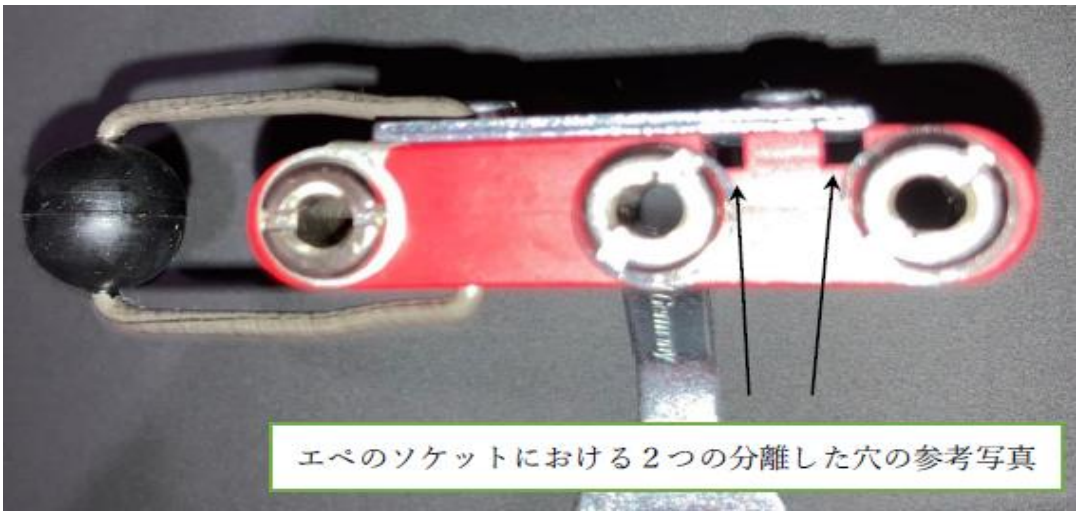
マスクケーブル：フルーレ・サーブル



・白色または透明のケーブルであること

・コイル状のケーブルは認められない

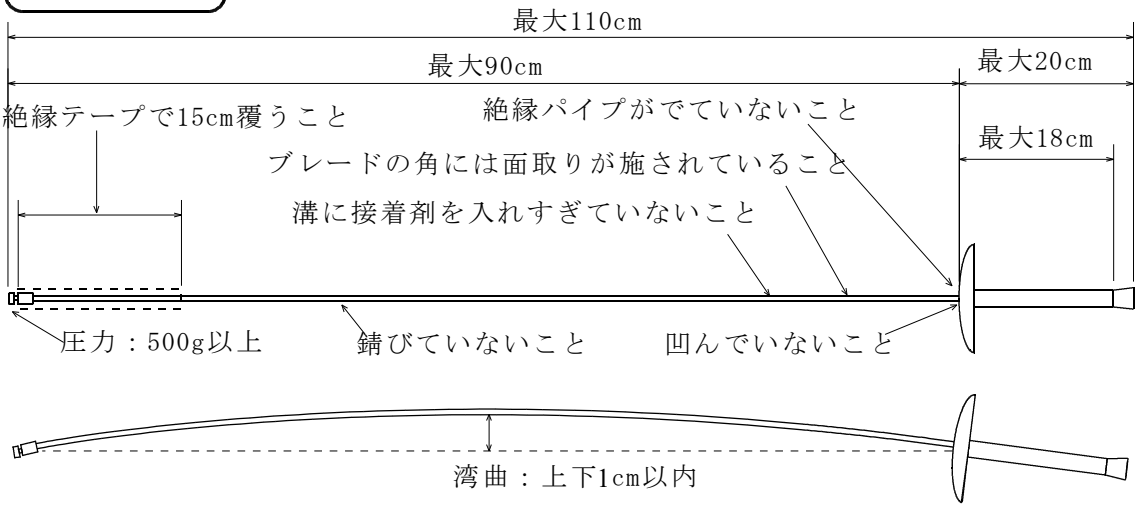
エペにおけるガード内側のソケット

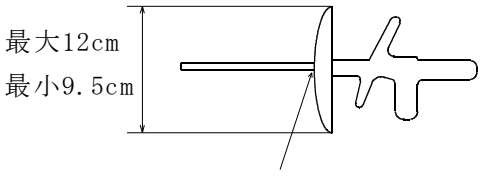


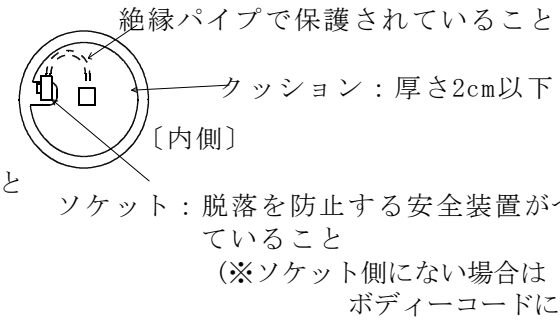
エペのソケットにおける２つの分離した穴の参考写真

剣：フルーレ

全重量：500g以下

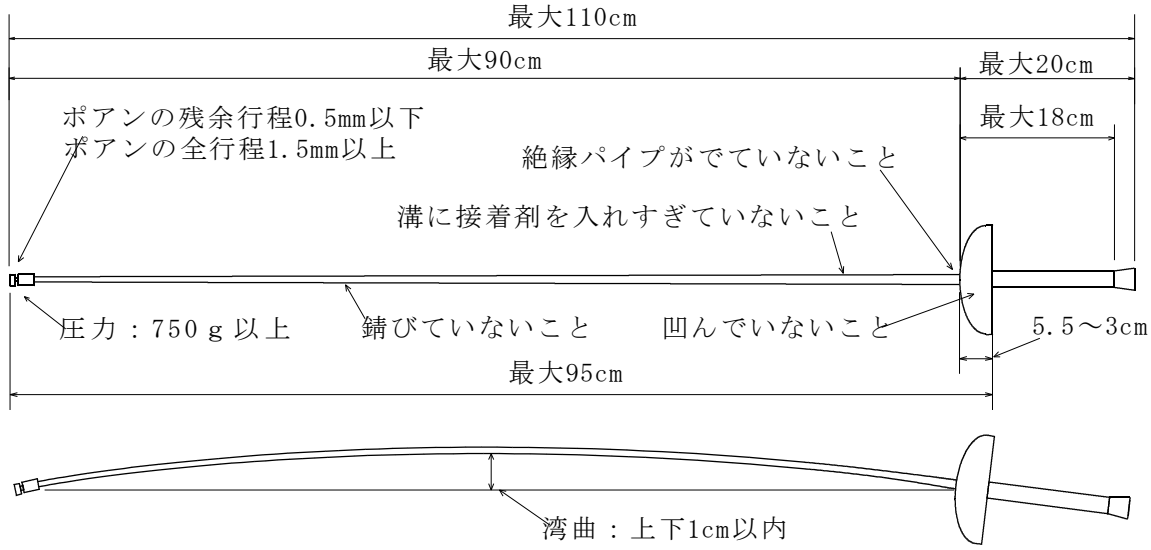


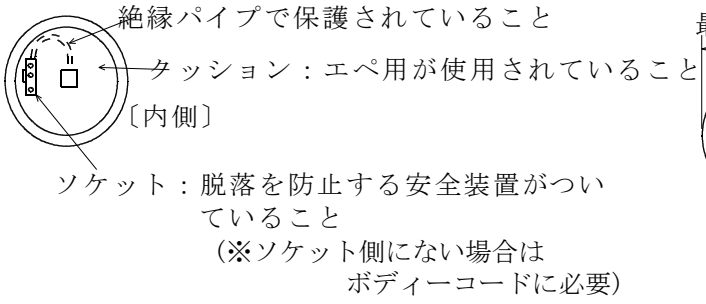


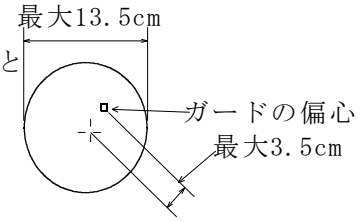


剣：エペ

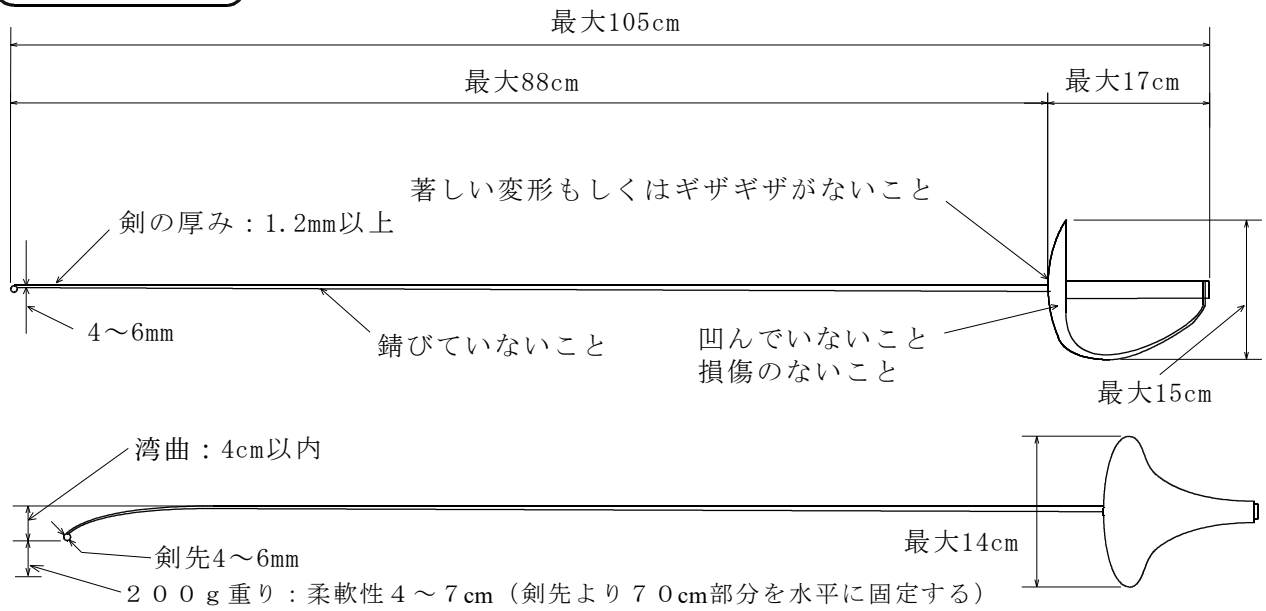
全重量：770ｇ以下

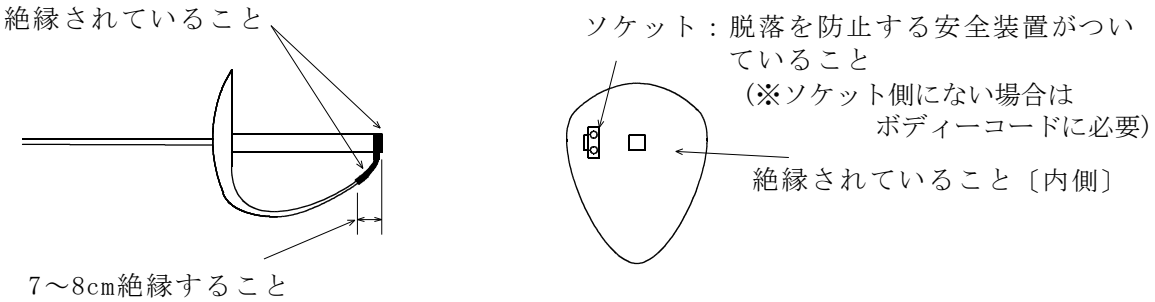




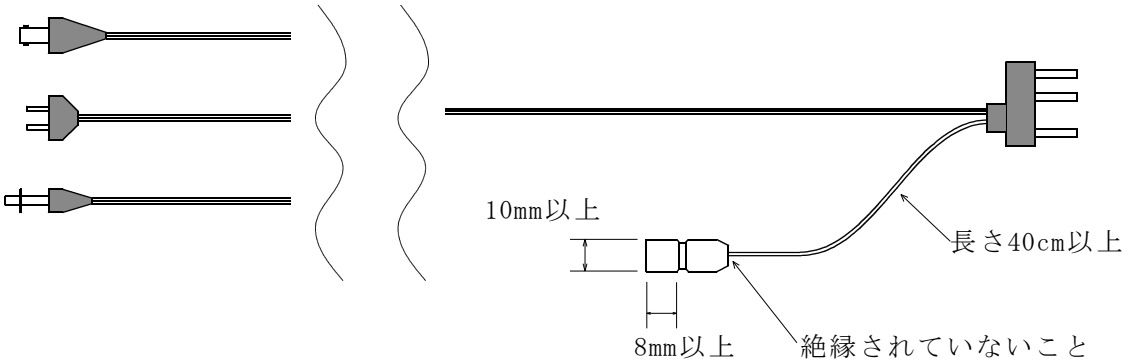
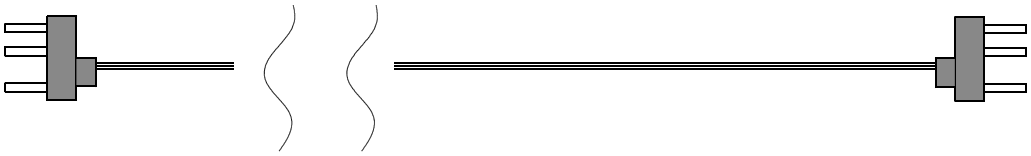


剣：サーブル　　全重量：500g以下





ボディーコード：フルーレ・サーブル　　※断線、短絡、接触不良がないこと



ボディーコード：エペ　　※断線、短絡、接触不良がないこと